相生産業高校　学校通信　令和８年度 No. 2 （通算 No. 178）　令和8年5月18日（月）

相 産 だ よ り

誠実　創造　努力

創立記念講話

４月 18 日は本校創立記念日です。それに先立ち４月 15 日（水）３・４校時、創立記念講話を行いました。講師は本校商業科卒業（21 回生）の阿部秀行先生です。現在、株式会社万代　代表取締役社長であり、また一般社団法人日本スーパーマーケット協会副会長としてご活躍されています。

入社当時は万代百貨店という社名であり、対面販売で野菜や魚を販売。朝４時に起き、２ｔトラックで大阪まで仕入れに行き、それらを自分で積み込んで売り場に行き、仕入れ分は、その日のうちに売り切ることが仕事でした。しかし、中学生の時から野球を続けてきた経験から、野球をしていた時のしんどさに比べると、営業はしんどくなかったそうです。入社 10 年後にチーフになったとき、人に対する思いやりの大切さを実感され、このことが今も生きており、「一緒にやろう」、「楽しくやろう」ということを大切にされています。その後、スーパーバイザーを任された際には、「目標を立て方法を工夫して、一人ではなくみんなで取り組むこと」を心がけられ、これは、高校生の皆さんにとっても大切なことと伝えられました。また、今後進路を選ぶ中で、「やりたいことを明確にする」、「３年間はその道で我慢することも大切」と話されました。社会に出ると、自分の思うようにはいかないことが多いが、一所懸命やっていると、いろいろなものが見えてくる、そして新たな発見や挑戦が待っている。何か目標を持って取り組むことの意義を話されました。

経験豊富な先輩の言葉に生徒たちは一心に耳を傾けていました。以下に生徒の感動の声をお知らせします。

- 阿部社長のように偉業を成し遂げるには、自分に厳しいが、人には優しさを持つことが大切だと感じた。常にお客様を優先し、さらに従業員のことも常に考えていらっしゃる心がけに感銘を受けた。
- 社長は、たくさんの失敗を重ね、そこから学んだことを大切にしてこられたからこそ、目標であり夢であった社長になることを実現できたのだと思う。
- 阿部社長は入社後、将来社長になるという高い目標を持たれていることに驚いた。自分も社長の姿勢を見習い、さらなる高みを目指して努力したいと思う。今年には就職試験があるので今日教えていただいた貴重な事が必ず役立つと思う。入社後もすぐに辞めてしまうのではなく、自分の個性を伸ばし、新しいことに挑戦し続けたいと思う。
- 自分がやりたいと思い、行動したことは、最低三年はやり続けることが大切で、毎日コツコツと継続し、努力することが成功への一歩になるとわかった。また、最高責任者として、「命令」するのではなく、「共に行う」ということを大切にされていて、とても良い考え方で、自分も見習いたいと思った。自分も人に対して思いやりを持って接し、自分の得意なことを伸ばし、発揮できるように頑張りたい。「今日より明日が良い日になる」と自分に言い聞かせて奮い立たせていきたいと思う。
- 講話を聴いて夢に向かって全力に取り組み、仲間と協力しあい、挑戦することの大切さを学んだ。阿部社長は、周りと協力したら前よりうまくいったとのことだが、自分一人では気づかないことでも、誰かと協力し助け合うことで、わかってくることがあると思った。自分の夢を実現するためには普段の生活や勉強が必須なので、自分も頑張りたい。社会に出てから失敗することもあると思うが、その時にどうすればよいか、失敗を次にどう活かすかを自分自身で考える大人になりたい。